

TRAVEL IN YABUKI

THE THREE
GREATEST FRONTIER
OF JAPAN

日本三大開拓地「矢吹町」

vol.03

世界に誇れ！畜産の育成と研究の町。

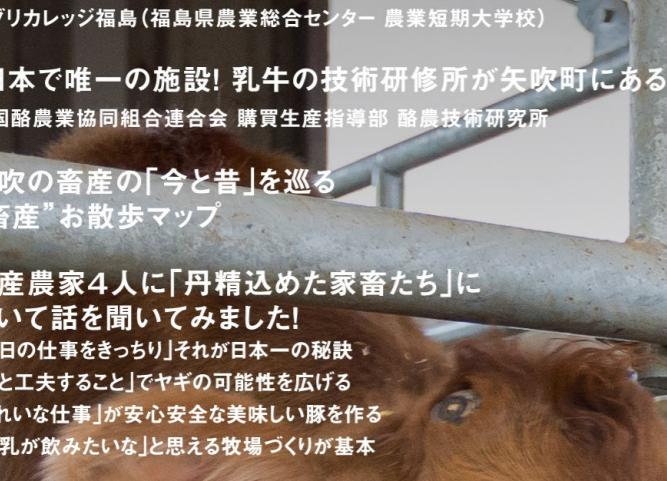


 矢吹町

世界に誇れ！

Agri Museum Project | 01

CONTENTS

- 

03 矢吹に「生きる糧」を与えた畜産の歴史

05 「育つのは牛だけじゃない! 若き畜産家の学び舎」
アグリカレッジ福島(福島県農業総合センター 農業短期大学校)

07 「日本で唯一の施設! 乳牛の技術研修所が矢吹町にあるんです!」
全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部 酪農技術研究所

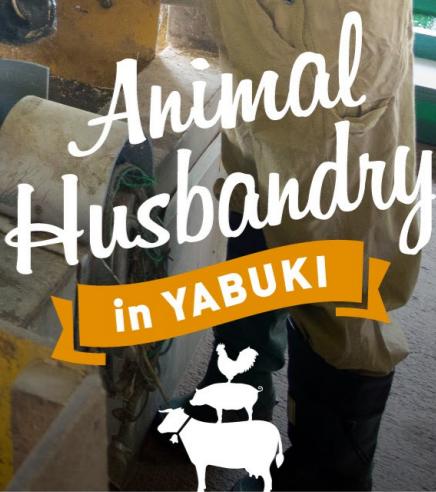
09 矢吹の畜産の「今と昔」を巡る
“畜産”お散歩マップ

11 畜産農家4人に「丹精込めた家畜たち」について話を聞いてみました!
「毎日の仕事をきっちり」それが日本一の秘訣
「ひと工夫すること」でヤギの可能性を広げる
「きれいな仕事」が安心安全な美味しい豚を作る
「牛乳が飲みたいな」と思える牧場づくりが基本

14 矢吹のおいしい畜産物の
安全・安心の取り組み



矢吹に「生きる糧」を



矢吹が原に躍動する馬

矢吹の畜産は、昔盛んだった農耕馬の生産が原点にある。かつては県内一帯の農家では、家屋の中には馬小屋を設けて馬を大切に扱っていた。その証として、馬を使いとしてたてまつり、木彫りの馬や絵馬を神社に奉納する信仰が今も残っている。

矢吹では明治初頭には馬のセリが始められ、遠くは九州、関東の馬喰（仲買商人）がセリに集まり賑わいを見せた。しかし、戦後に念願の羽鳥疎水が完成すると開拓が進み、馬を飼育していた草原地は姿を消し、農耕馬の需要もなくなり、矢吹から馬の姿はなくなってしまった。

時は流れ太平洋戦争後、開拓に邁進する矢吹では、稻作經營を支える農家の直近の現金収入として、畜産がクローズアップされる。開拓事業が本格化する一方、都市部では高度成長期に突入、工業と農業の生活格差が広がり、その是正を目的として国では昭和三十六年に農業基本法を施行。農業の生産性の向上と共に、掲げられたのが「農家所得の増大」。その一翼を担つたのが農家への家畜導入だった。



農村の貴重な労働力として尊ばれた馬、そして戦後の農業経済を支えた鶏、豚、牛。
矢吹の畜産は、日本の農村史が凝縮したドラマを持っていた。
矢吹の農業と共に、町の経済を担った畜産の歴史をたどる。

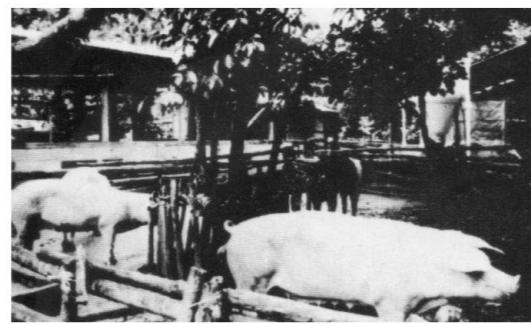
養鶏から始まり子豚の一大生産地へ

畜産業の始まりとして矢吹で始められたのは、小型で飼育が容易な養鶏だった。いわゆる農家が副業的に庭先に数羽の鶏を飼い、卵を売って現金収入を得る庭先養鶏が広がる。農業と異なり毎日産んでくれる卵が、農家の貴重な商品になり、農家ではめったに口にできなかつた。

養鶏を支える卵からヒナを育てて出荷する孵卵場も、弥栄地区や矢吹小学校付近にあり、昭和五十年代初頭まで稼働していたことでも、養鶏が盛んだったことが窺える。また、農家で生産される卵を自転車やリヤカーで買い集める「卵買い」という業種も存在した。

養鶏の次に盛んになったのが養豚。養鶏もそうだが食肉用としての畜産ではなく、子豚を出荷することが主な目的だった。特に矢吹は子豚の出荷の一大生産地となり、大町地区にあつたせり場では、月三回のセリが開かれ、一セリにつき三千頭ほどの子豚が取引されていた。農家では経済的な理由で子どもを生む雌豚だけを飼育していることも多く、繁殖期に農家へ種付けの雄豚を貸し出す養豚業も十軒以上あったという。

町の農業粗生産額の推移を見ると、昭和三十五年の二位は鶏卵、以降四十七年まで養豚が占めている。いかに農家の経済が畜産で支えられてきたかが窺える。



【養豚】

矢吹町でよく見られた養豚風景。
『目で見る矢吹町史』より

農業養成施設から牛の飼育が本格化

そして矢吹の畜産の流れとして欠かせないのが酪農である。もとは農耕馬に代わる農耕用の牛は飼育されていたが、福島県の農業振興のため人材育成をしていた現在の福島県農業総合センター農業短期大学校（後述）の活動や、昭和二十一年に日本酪農講習所（後述）が設立されたことにより、矢吹の酪農振興の機運が高まる。昭和二十四年以降には酪農協同組合が発足し、牛乳処理場が完成。飼育頭数も組合発足時の三十六頭から、昭和四十年には、飼育戸数三百十軒、飼育頭数五百八十八頭と飛躍的な伸びを示した。また、福島牛などブランド牛などに肥育される食肉用の牛や農耕用の役用牛なども酪農用の牛とともに生産がされていた。昭和四十一年には、鶴豚牛を扱う矢吹家畜市場が開場。福島県下の家畜業の拠点として賑わいを見せていた。

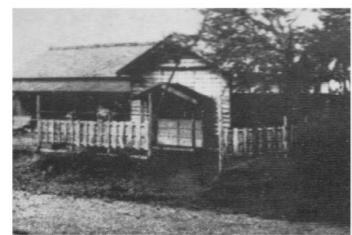
しかし、昭和五十年以降は、畜産業の大型化や輸入食肉・乳製品の流入などにより、矢吹の畜産は縮小の一途をたどる。現在では家畜市場は閉鎖され、酪農牧場は町内でも十軒余りの牧場を残すのみとなっている。

しかし、町内では現在でも肉牛や乳牛の共進会（コンテスト）で、優秀賞を受賞する畜産農家や、ブランド豚を育てる畜産農家、畜産に関する研究所や教育機関がある。矢吹ヶ原で育まれた畜産の歴史は、今も日本の食を支えているのだ。



【福島県南酪農組合】

昭和35年に福島県南酪農組合では、牛乳処理場を建設。矢吹・三神・中畠地区から集めた牛乳を扱っていた。



【家畜診療所】

中畠地区には家畜診療所があり、主に牛が専門で鶏や豚の飼育は、農家や営農指導員が協力しながら風土に合った飼育を確立した。

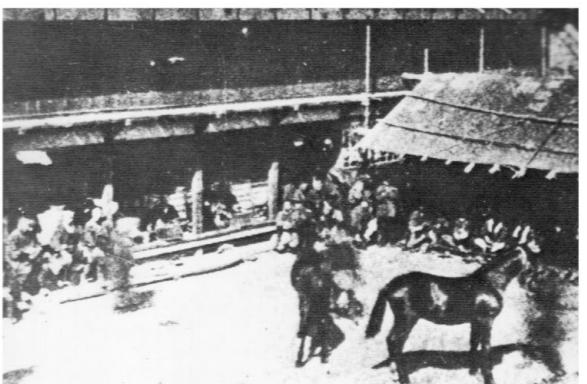
『目で見る矢吹町史』より



【家畜共進会】

矢吹家畜市場では、家畜の品質を品評する総合家畜共進会が恒例に行われていた。写真は乳牛の部の審査風景。

『目で見る矢吹町史』より



【馬のセリ市】

明治時代の馬セリの風景。
取引額は5万円（現在で1億9千万円程度）もの多額に及んだ。



育つのは牛だけじゃない！ 若き畜産家の学び舎

実践的に畜産が
学べる2年間

現在アグリカレッジ福島で畜産経営学科を専攻するのは、一年生十二名、二年生十一名。何と二年生はほとんど農業をしていない非農家の皆さん。入学理由もさまざま。家業を継ぎたい学生はもちろん、動物が好き、自分探しと幅広い想いの学生が乳牛と肉牛合わせて約四十頭の世話をしています。

授業内容は、卒業後に即戦力となる畜産農家を養成する学校だけあって実践的。日々の牛舎の掃除、エサやりから、乳牛の搾乳、子牛の育成管理などをいます。大型特殊免許や国家資格の人工授精師の取得も可能。一年次には、校外留学として県内の畜産農家さんへ泊まり込みや通いで、二週間ほど研修を行ったり、二年次は卒業論文に沿った研修を自分で計画準備して行います（鳥取まで研修に行つた学生もいるとか！）。畜産にはセリへの出荷のお別れが付き物ですが、愛情込めた牛なので悲しさはあるものの、高値で売れる期待の方が大きいそう。たくましい限りです。



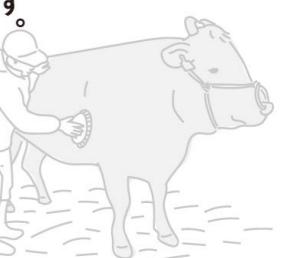
アグリカレッジ福島
(福島県農業総合センター 農業短期大学校)
昭和10年に福島県立修練農場として開場。矢吹ヶ原への入植希望者は、この施設で1年間の訓練を受けていました。昭和63年に福島県立農業短期大学校として開校。福島県内唯一の農業大学校として、52ヘクタール（東京ドーム11個分）という広大な敷地の中で、水田、野菜、果樹、花き、畜産の学科に分かれて研修を行っています。

Animal
Husbandry
in YABUKI



かつて矢吹ヶ原開拓の担い手として、
全国各地から集まつた入植者に
農業技術を伝えた施設は、
現在も畜産の将来を担う若者が、
牛と一緒に青春の時を過ごしています。

Agri Museum Project



一般の方が参加できる
お得なイベントも開催！



農産物直売イベント

地域との交流、農業教育に対する理解促進を目的に、学生が生産したお米や野菜、果樹や花きなどの農産物の直売イベントを実施しています。残念ながら畜産物は販売していませんが、毎回オープン前に行列ができるほどの盛況ぶりです。



INTERVIEW 学生インタビュー



畜産経営学科
酪農専攻2年
館内 将希さん

親はサラリーマンですが、農業高校でずっと牛を飼育していました。最初はでっかくて臭いイメージでしたが（笑）、世話しているうちに慣れて可愛く感じるようになりました。高校三年の授業で、牛の爪を切る削蹄師（さくていし）の東北大会を見学した時に、来年からお世話になる師匠（しわく）の削蹄を見て進路を決めました。削蹄に時間をかけると牛が暴れるんです。師匠の仕事の流れにシビしましたね（笑）。土日も出身校の農場管理のバイトをしており、牛漬けの毎日ですが、酪農家さんに信頼される削蹄師になりたいです。師匠のように大会にも出たいですね。

INTERVIEW 学生インタビュー



畜産経営学科
肉畜専攻2年
加藤 祐介さん

私は三春で酪農をしています。家の手伝いで乳牛のことを知るうちに、和牛に興味が湧き、高校三年の進路で肉牛の勉強ができるこの学校に進学することにしました。兄が家業を継ぐ予定なので、自分は質のいいA5ランクの和牛を出荷できる畜産農家を最初の目標にしたいと思っています。ゆくゆくは自分の牧場を持ち、最初は頭数が少なくとも、肉質を落とさずにいい牛を出荷できる牧場にしたいです。そのため卒業後は、和牛を育てている牧場で修行したいと思っています。そんな牛のことが話せる、友だちと密に過ごせる今の学生生活は、楽しく貴重な時間です。

INTERVIEW 先生インタビュー



畜産経営学科
教務主任
の野崎 達雄さん

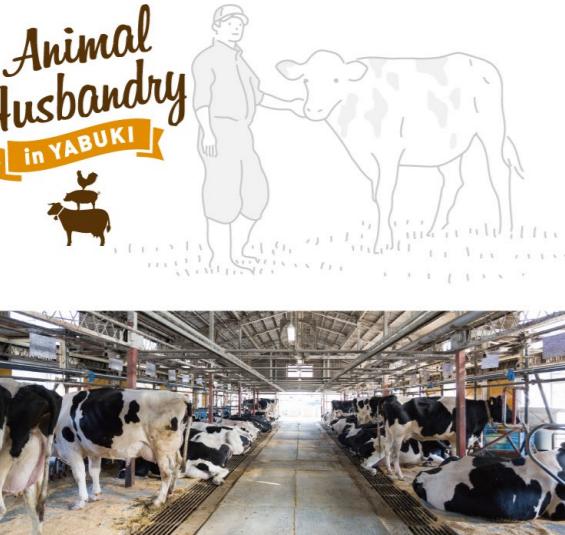
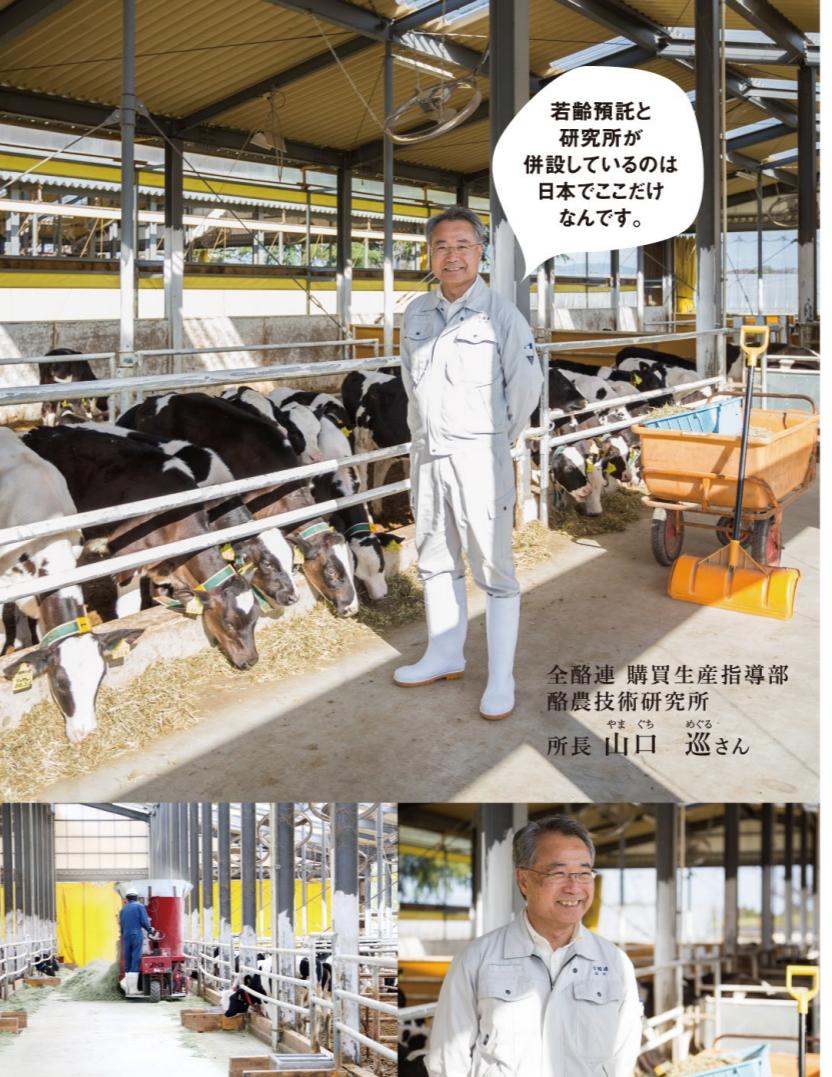
初めは入校生の技術の差はあります。牛の世話を一通りグーープでさせるようになります。牛の飼育で一番重要なことは「先を読む力」です。それは仕事の段取りもそうだし、牛の体調を観察することでも言えます。まずは実践して、分からぬ部分は知ついる同級生に教えてもらう関係が一番技術を吸収できると思います。前向きに失敗するのはいいこととして、私は学生と牛を見守りながら本当に危ないときに声掛けするだけです（笑）。



日本で唯一の施設！ 乳牛の技術研究所が 矢吹町にあるんです！

アグリカレッジ福島の隣にある「北海道のような光景」が広がるあの施設は何だらう？

そんな疑問を持つ町民の皆さんも多いのではないかでしょう。実はこの施設、全国規模の酪農組合の研究施設なのです。普段は立ち入り禁止の施設ですが、今回は仕事内容を知つてもらうために、特別に見学させてもらいました！



【カーフハッチでの飼育】

「カーフハッチ」と呼ばれる小さな牛小屋で、乳離れまで哺乳試験を受ける子牛たち。あぶくま道側の公道から、草原に現れるこの光景を眺めることができます。



【搾乳牛舎】

試験用の牛舎。研究データを取るため、与えられる飼料量は各牛によって違う。月1回は体重と体格の計測が行われるそうです。



【哺育棟】

若齢預託されている哺育牛たち。首についているチップで、授乳量が一頭ごとに管理されています。ヒーターと扇風機も完備されています。



この施設の正式名称は「全酪連 購買生産指導部 酪農技術研究所」と言います。この施設は、実際に牛を使って試験を行なう研究所で、全国酪農業協同組合連合会（全酪連）という東京に本部を置く、生乳の流通、牛乳、乳製品など製造販売、酪農家への情報や生産資材の提供などを行なう酪農専門の農協が運営しています。

昭和四十九年に酪農研修所として開所以来、農協で提供する飼料などの効果試験や、農協職員の研修などを行っています。

この施設で昨年から開始された事業が「若齢預託」。言わば子牛の保育園のような事業です。乳牛のメスは、初産を経ないとお乳は出ません。そこで牧場の子牛を研究所に集約して約4ヶ月間預かり、その後北海道の預託牧場で飼育し、種付けを預かった生後三ヶ月令の哺育牛、離乳した育成牛の約三百頭を飼育しています。

子牛たちにとっては初めての同級生たちとの集団生活になるというわけです。

所長の山口さんは「酪農家にとって搾乳ができるまで子牛を育てるのは大変です。酪農家の負担を少なくし、集中して牛乳

打ち切りなどもあり昭和四十五年二十三期生の卒業をもって歴史に幕を下しました。しかし講習所が残ったそうです。昭和三十年代になると酪農技術の二ヶ所は増し、福島県でも一本松分校が開校。講習所では、北海道へ視察を兼ねた旅行や、野球や文学などを部活も行なわれました。

しかし時が経ち、人工授精の機械導入や財政支援の乏しかった時代の中での寮生活。食事の汁物に家畜用の菜種を汁の身にするほど、食べ盛りの講習生は空腹だったそうです。昭和三十年代になると酪農技術の二ヶ所は増し、福島県でも一本松分校が開校。講習所では、北海道へ視察を兼ねた旅行や、野球や文学などを部活も行なわれました。

しかし時が経ち、人工授精の機械導入や財政支援の乏しかった時代の中での寮生活。食事の汁物に家畜用の菜種を汁の身にするほど、食べ盛りの講習生は空腹だったそうです。昭和三十年代になると酪農技術の二ヶ所は増し、福島県でも一本松分校が開校。講習所では、北海道へ視察を兼ねた旅行や、野球や文学などを部活も行なわれました。

実は現在の「全酪連の酪農技術研究所」は、矢吹町の酪農振興の機運を高めたある施設から建物と敷地を借り受け、開所していました。（昭和五十九年に福島県から購入）

その施設は、森永乳業の初代社長を務めた松崎半三郎氏が初代理事長になり設立され、昭和四十五年に閉所するまでに五百人以上の酪農家を輩出しました。

松崎氏は乳業会社組合の相談役辞任の記念事業として、酪農の人材育成施設を計画。当初候補地として、故郷埼玉県鉢形を構想していましたが地元の反対もあり断念。福島県や地元議士からの誘致もあり矢吹町に設立されました。隣接する現在のアグリカレッジ福島や鏡石町の岩瀬牧場の存在も大きかったようです。

講習所で特に力を入れていたのは牛の人工授精で、この新技术を習得するために、北は北海道、南は鹿児島まで全国から若者たちが集まりました。食料がまだ乏しかった時代の中での寮生活。食事の汁物に家畜用の菜種を汁の身にするほど、食べ盛りの講習生は空腹だったそうです。昭和三十年代になると酪農技術の二ヶ所は増し、福島県でも一本松分校が開校。講習所では、北海道へ視察を兼ねた旅行や、野球や文学などを部活も行なわれました。

しかし時が経ち、人工授精の機械導入や財政支援の乏しかった時代の中での寮生活。食事の汁物に家畜用の菜種を汁の身にするほど、食べ盛りの講習生は空腹だったそうです。昭和三十年代になると酪農技術の二ヶ所は増し、福島県でも一本松分校が開校。講習所では、北海道へ視察を兼ねた旅行や、野球や文学などを部活も行なわれました。

矢吹町から全国へ。実は日本の酪農を支える研究所。

生産ができるようなお手伝いするのがこの事業です。今年は熊本にも同様の施設ができます。」と話してくれました。

何だか町との結びつきが薄いと感じるかもしれません、そんなことはありません。実は研究所で搾乳された1トンもの生乳は出荷され、酪王牛乳として私達の口に入っています。また、牛の飼育には牛舎に敷く大量の稻わら、もみがらが必需品。研究所で使われる稻わらは、町内の稻作農家さんと研究所から出るたい肥と物々交換して得ているのです。山口所長自らトラックを運転して運搬しているとか。

震災後は一時閉鎖も危ぶまれ、牛が姿を消した時期もあったといいます。自力で表土を剥ぐなど苦労もあったそうです。入ることはできませんが、敷地外から子牛が並ぶ姿を眺めてはいかがでしょうか。



全国酪農業協同組合連合会
購買生産指導部 酪農技術研究所
〒969-0223福島県西白河郡矢吹町文京町5番地
Tel.0248-42-4100



【酪農講習所の全景】

昭和22年発足当時の酪農講習所。右から教室、一寮、飼育庫、二牛舎。現在の研究所の本館は、講習所時代は、事務所として使われていた。



【松崎半三郎氏】

松崎氏(右から二番目)は森永商店で営業を担当。頭角を現し、森永乳業の前身日本煉乳株の初代社長に就任。その後、乳業会社の団体「日本煉乳協会」の理事長に就任。日本の酪農・乳業の土台を築いた。安倍首相夫人の昭恵夫人の曾祖父にあたる。

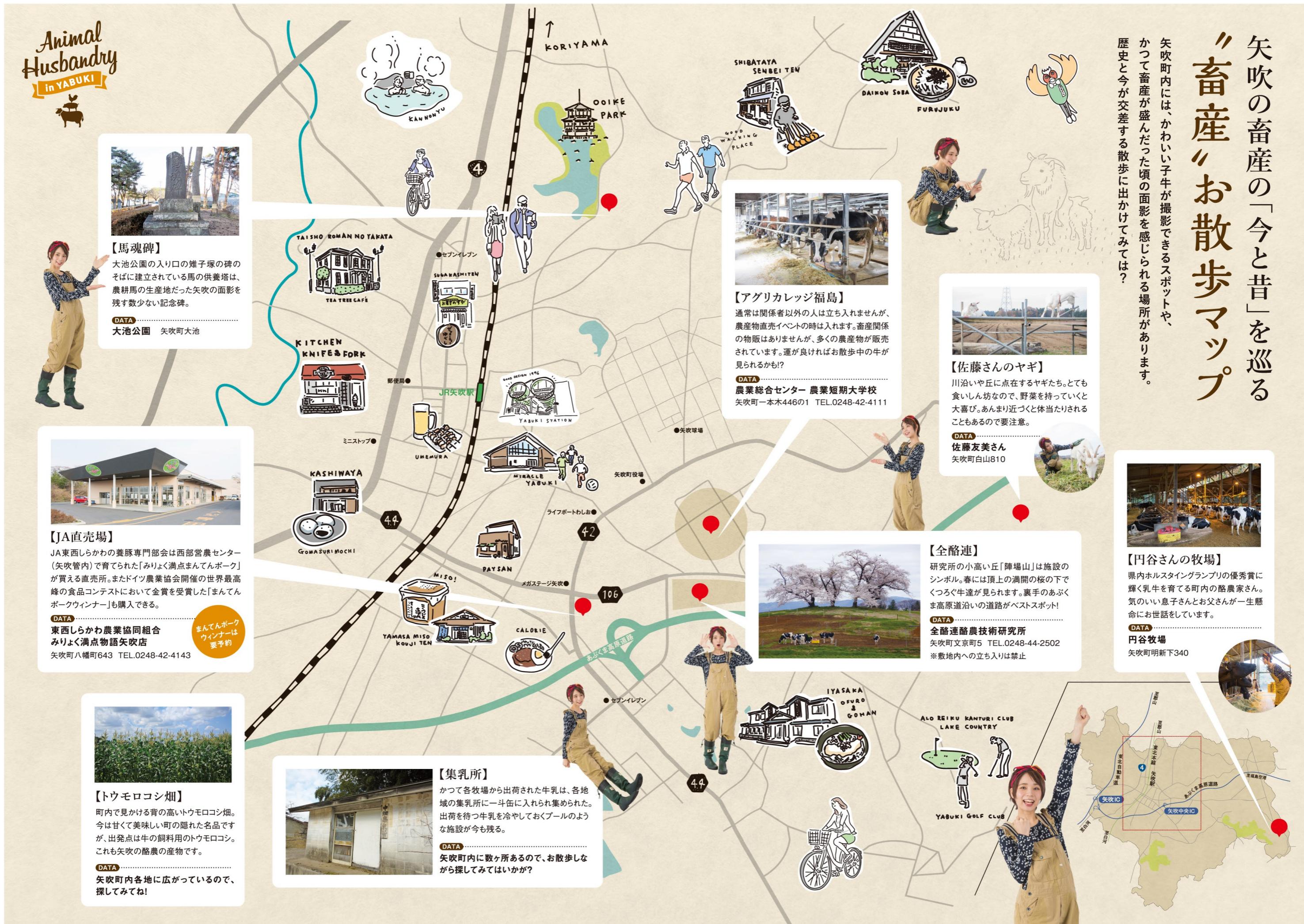


【当時の寮の風景】

講習生は、家業を継ぐ少年、乳業会社からの出向やシベリア滞留を経験した人など経歴も年齢もさまざま。生活する寮は、部屋の両脇に十名ずつ寝る追い込み宿舎だった。

矢吹の畜産の「今と昔」を巡る
「畜産」お散歩マップ

矢吹町内には、かわいい子牛が撮影できるスポットや、かつて畜産が盛んだった頃の面影を感じられる場所があります。





Sato Tomomi



最初はつがいの2頭から始めたんだけど、方々から集まっています。現在は10頭います。幼稚園に連れて行ったら喜ばれますよ。



Kashiimura Mamoru

性格は個々違うんですが把握できません(笑)。全て丈夫に育てた愛着ある子たちです。

父の代から家では五十年近く養豚をしていました。今はJAに出荷している養豚農家は近隣に三軒ほどになりましたが、昔は本当に盛んでした。バレーボールやソフトボール大会が、養豚農家だけ出来たほどです。しかも地区ごとにチーム作れて補欠が出るくらいの人がいましたよ(笑)。昔は残飯や自家米などをエサにしていましたが、今は品質と衛生にはとても気を使っています。体重ことにエサを変えるほどです。安全安心はもちろんですが、品質もばらつきのない良い仕上がりのものを出荷しています。

心掛けてるのは、きれいな仕事をする事。衛生面はもちろん、仕事の段取りも商売もそうですね。なかなか難しいんだな。豚さんが沢山仕事を作ってくれるからね(笑)。

YABUKI FRONTIERS TALK

03



ヤギは去年から飼い始めました。昔は矢吹町でも飼う人がたくさん居て、お乳を売っている人もいたんですよ。ヤギは子どもを産まないとお乳を出さないので、早く子どもが産まれて欲しいんですけどね。まだまだこれからです。

将来は雌ヤギを増やして、チーズを作りたいと思っています。ヤギのお乳はアレルギーが出ないし、雑草を食べてくれる。近年ヤギを飼うメ

リットも見直されています。私の性分で、仕事でも何でもひとつ工夫したくなるんです。ヤギは昔の家畜と思われていますが、今だからこそ、面白くなる可能性はあります。

これからは、チーズの加工所や直売所などもできればと思っています。若い人もスタッフとして雇えれば、地域も賑やかになつていいくですね。

\ YABUKI FRONTIERS TALK /

畜産農家さん4人に「丹精込めた家畜たち」について話を聞いてみました!



Sato Shigeru



こいつは正面から見ると、横幅があるですよ。そういう牛はいいんです。



牛をやり始めて三十五年になります。米とタバコを作っていたのですが、タバコは病気が広がって辞めてしまいました。タバコに代わって、毎月お金が入る仕事が必要だったんですね。それは一大決心でしたよ。

石川町にあった牛のセリ場で二頭を貰い、畜産を始めました。今は本宮だけですが、昔は会津、双葉、古殿、塙など福島県内各地にセリ場がありました。自分の牛を選ぶ目を養いながら、十頭くらいに増えた時期から、経営の頭くらいいに増えた時期から、経営の方法を教える人はいませんから(笑)。

牛の肥育は本当に難しいものです。教科書などありません。自分で考えながらここまできました。誰も金儲けの方法を教える人はいませんから(笑)。

牛の性格が出てると思います。

ここまでやれたのは、日々の積み重ねかな。やっていれば何とかなるもんです。いい牛が当たればね(笑)。

よく言うのが「出荷するときは六十代にしる」と言つんです。出荷前は、飼料を食べさせつつ、ビタミンを切るんです。そうすると、牛の目は白濁して夜は光り、角には油が乗つて光沢が出来ます。出荷前は倒れない程度のギリギリを狙いますが、基本は毎日いい草を時期に合わせて食べさせることが一番大切なんです。

全國食肉牛枝肉共励会の最高賞などを貰う人の性格が出ると思います。

はしていません。ひとつひとつの作業を毎日きつちりやる。そういう意味で

色々賞をもらいましたが、特別なことは

ここまでやれただけですが、特別なこと

はしていません。ひとつひとつの作業

を毎日きつちりやる。そういう意味で

は、飼う人の性格が出ると思います。

ここまでやれたのは、日々の積み重ねかな。やっていれば何とかなるもん

です。いい牛が当たればね(笑)。

牛をやり始めて三十五年になります。

米とタバコを作っていたのですが、

タバコは病気が広がって辞めてしましました。タバコに代わって、毎月お金が入る仕事が必要だったんですね。それは一大決心でしたよ。

石川町にあった牛のセリ場で二頭を貰い、畜産を始めました。今は本宮だけですが、昔は会津、双葉、古殿、塙など福島県内各地にセリ場がありました。自分の牛を選ぶ目を養いながら、十頭くらいに増えた時期から、経営の方法を教える人はいませんから(笑)。

牛の性格が出てると思います。

矢吹のおいしいは安全・安心! こだわりの一品をぜひ堪能ください!

矢吹フロンティアーズトークで紹介した3名の畜産品は、実はこれらの商品として販売しています。
生産地に矢吹町の名前はありませんが、おいしさと安心・安全を持って、皆さんの食卓へお届けしています!

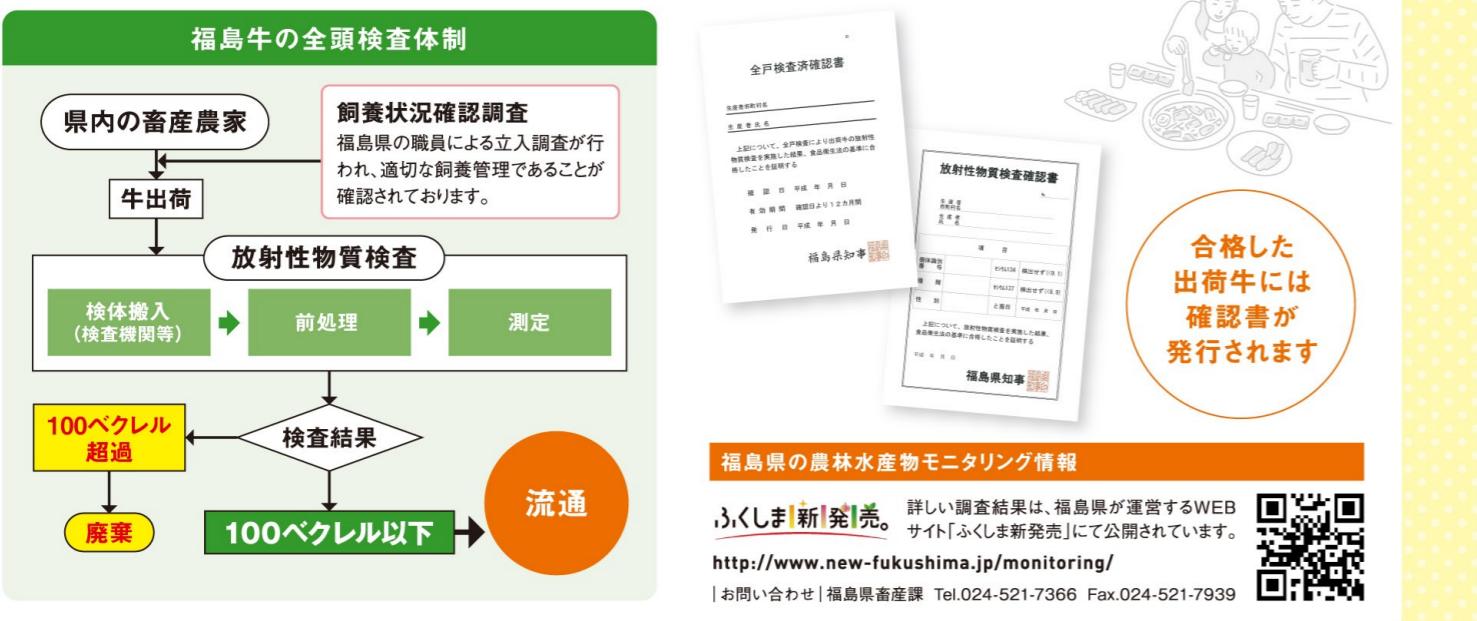


酪王牛乳

酪王カフェオレで全国に有名な「酪王乳業」。本誌で紹介した円谷さんや全酪連さんなどで出荷した原乳は、すべて酪王牛乳として飲まれているのです。

お問い合わせ先 なかなかびーふ／なかなかびーふ生産組合 Tel.0299-56-5166
まんてんポーク/JA東西しらかわ Tel.0248-42-4143

矢吹町をはじめ福島県内の畜産物は、 安全・安心の体制でお届けしています!



真也さんの父・勝幸さん。「細かい事が気になると、つい自分でしゃうんです。もうそろそろ息子に任せないとね」

両親と一緒に頑張っています。今は専門学校を卒業した後、牧場で一年間修業して家に戻りました。今は両親と一緒に頑張っています。親父とはケンカになりません。お互いの感覚が似ています。この仕事を楽しむとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホルスタインショーのグランプリチャンピオンを受賞することができました。年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

て遊んでいました。自分でも家業を

やるもんだと思って、北海道の酪農

専門学校を卒業した後、牧場で一年

間修業して家に戻りました。今は

両親と一緒に頑張っています。同

じの感覚が似ています。この仕事の楽しみとして品評会での評価があるので、会が近くになると親父と一緒に協力して準備をします。まれにぶつかるときは、夜の乾杯で水に流します。これは我が家の中のルールです(笑)。

周囲の皆さんのお陰で、福島県ホル

スタインショーのグランプリチャン

ピオンを受賞することができます。

年々仕事は増えています。親父はよくこの仕事を続けてきたなと思うこともあります。そんな時は同じ生の友だちとの付き合いが、息抜きになっています。違う分野の視点や

たね。手伝いというか、後を追っかけ

やって来たのさ スコップを片手に
 置いてきた日常 背負ってきた希望
 やって来たのさ 何かを探しに
 新しい日常 燃えたぎる血潮
 お日さまよ昇れ 恵の雨よ降れ
 大地を耕せ 種をまけ
 おのれで未来を 切り拓け
 笑って涙して汗をかけ
 その手でつかみ取れ 開拓のうた



YouTube フロンティア絶好調! 開拓のうた 検索

開拓のうた

KAITAKU NO UTA



開拓の町
矢吹
YABUKI MACHI

矢吹町“神の田んぼ”的酒米でつくる
上質な甘みと豊かな味わい



矢吹町内

「開拓のうた」は下記の店舗にて販売しております。



取扱店舗

- きたじま酒店
- ファミリータウンきたむら
- サトー酒店
- セブンイレブン矢吹中央インター店
- 宍戸善四郎商店
- セブンイレブン北町店
- 本多酒店
- セブンイレブン矢吹店
- セブンイレブン東郷店

- セブンイレブン大畠店
- ミニストップ大町店
- セブンイレブン中畠店

純米吟醸 ■1.8L…2,780円(税込) ■720ml(生酒)…1,420円(税込) ■720ml…1,380円(税込)